

農業総合研究所
ビジネスレポート Vol.2

2016年9月1日 ▶▶▶ 2017年8月31日

農業に情熱を

Passion for Agriculture



株式会社農業総合研究所

証券コード：3541

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

農業総合研究所は、おかげさまで、昨年2016年6月に東京証券取引所マザーズ市場に上場、また、本年2017年10月25日には、創立10周年を迎えることが出来ました。これもひとえに株主の皆様のご支援の賜物と心より感謝しております。

私たちは今後も、持続可能な農産業を実現するために、ビジネスとして魅力のある農産物の確立を目指していきます。これからも「Passion for Agriculture～農業に情熱を～」を合い言葉に、新たな農産業プラットフォームを創造し続け、国内外の農産業を変革してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017年11月

株式会社 農業総合研究所
代表取締役社長 及川 智正

略歴：1975年東京生まれ。東京農業大学 農学部 農業経済学科 卒業。
学生時代から農業への危機感を覚え、会社員を6年間経験後、農業界へ転身。
生産現場で3年間、販売現場で1年間実践し、2007年に現金50万円で
農業総合研究所を設立、創業9年目で上場を果たす。

農業総合研究所グループについて

2017年8月期決算より、連結決算を開始。



グループ統括
国内の「農家の直売所」を担当



海外の「農家の直売所」を担当

Nippon Ichiba
Hongkong Limited

香港の「農家の直売所」を担当

農家の直売所を国内だけでなく、海外にも展開します！



香港のスーパー YATA Tai Po店

農業×ITベンチャー企業

ITを駆使し、クリエイティブに新しい農産物流通を創造し続ける会社

農家の直売所事業

新しい農産物流通プラットフォーム

全国の生産者及び農産物直売所と提携し、当社集荷施設で集荷した新鮮な農産物を都市部のスーパーマーケットを中心としたインショップ形式の直売所で委託販売するプラットフォームを提供しております。生産者が農産物を規格にとらわれず自由に生産し、自ら販売価格や販売先を決めて出荷することにより、農産物出荷による所得拡大やこだわりをもって生産した農産物を“顔の見える”形で生活者に届ける流通を実現しております。

生産者メリット

- 販路拡大による所得増加が期待できる
- 品目・規格・数量など自由に決めて生産できる
- こだわりをもって生産した農産物を“顔の見える”形で生活者に届けることができる

Consignment Sale



スーパーマーケットのメリット

- 産直コーナーを低コストかつスピーディに導入することができる
- 集客効果による店舗全体の売上増が期待できる
- 商品供給、生産者管理、決算業務などの手間を省くことができる

農家の直売所事業フロー



生産者数

7,016名

集荷場数

71拠点

店舗数

1,025店

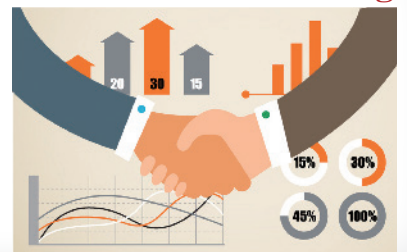
(2017年10月末現在)

農業コンサルティング事業

農業に関わるすべての業種へコンサルティング

農業参入企業や農産物直売所へのコンサルティングや6次産業化サポート等、農業に関わる生産、流通、販売をあらゆる切り口からコーディネートし、農業関連の経営支援、調査、ブランディング、講演を行っております。

Consulting



農産物流通事業

顔の見える生産者直送農産物の提案

国内外問わず多様な農産物流通チャネルを構築し、海外輸出入、PB向け卸取引、EC販売、ギフト商材、加工流通等を通して、生産者直送農産物の流通拡大に貢献しております。

Distribution Sale

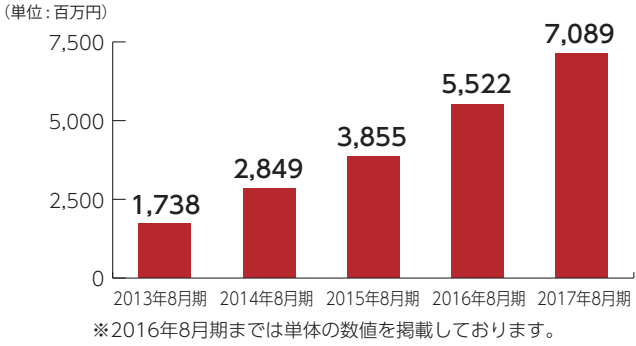


2017年8月期の業績(連結)について

当社は集荷場を北海道から九州まで全国的に12拠点開設し、2017年8月末現在で集荷場は69拠点、登録生産者は6,830名と拡大いたしました。また、積極的にスーパーマーケット等の小売店(以下、「スーパー等」という)と交渉してプラットフォームの普及を進め、新規にプラットフォームを導入したスーパー等が増加し、2017年8月末現在で996店舗(国内992店舗、香港4店舗)と大きく伸びたこともあり、農業総合研究所の売上高は1,659百万円、営業利益は131百万円となりました。

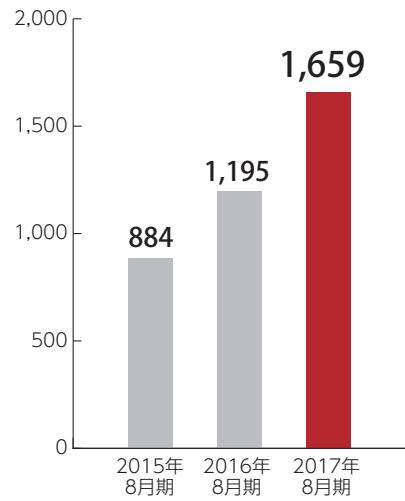
流通総額について

スーパー等において最終消費者が購入した最終販売価格の総計(流通総額)は7,089百万円と4年で4倍に拡大しました。当連結会計年度に増加した導入店舗や登録生産者が通年で寄与し、新規スーパー等へ積極的な営業活動及び業務提携を引き続き実施することで、流通総額の拡大を図ってまいります。

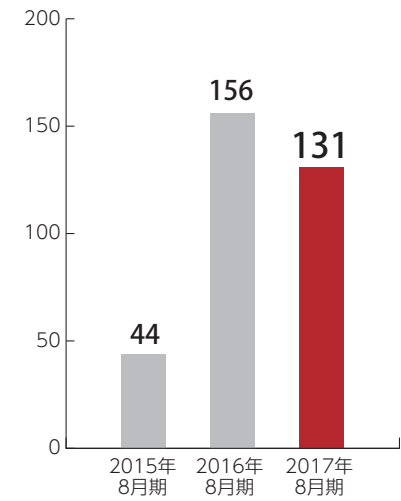


財務ハイライト (単位: 百万円)

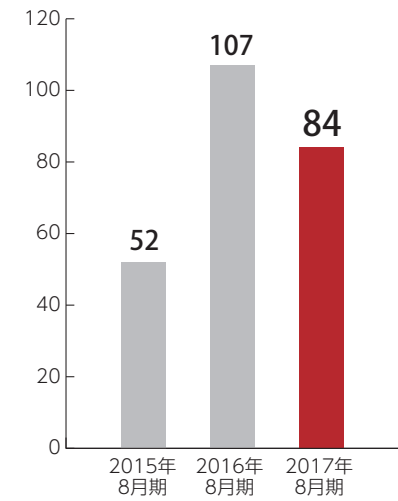
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



株式会社世界市場について

当社が継続的に成長・発展していくためには、海外事業展開が必要不可欠であると認識しております。当社は、株式会社世界市場を通じて、海外のスーパー等に日本の青果物をより手頃な価格で届けることにより、現地の顧客層と消費量を拡大し、獲得した外需を国内の生産者の手取りとして還元する仕組みを構築してまいります。

クールジャパン機構からの資金調達

2017年4月、クールジャパン機構(株式会社海外需要開拓支援機構)から株式会社世界市場に対する最大366百万円の投融資(投資枠316百万円、融資枠50百万円)が決定し、2017年6月、総額8,500百万円の第三者割当増資が行われました。



TOPICS

日本航空との連携協定締結

2017年7月に、日本産農産物の国内流通と世界への輸出拡大を目指し、日本航空株式会社、農業総合研究所、世界市場の3社が連携協定を締結しました。日本国内の集荷拠点を順次拡大し、羽田を基点とするJALの国内線と国際線ネットワークの組み合わせにより、国内流通の促進と海外の消費者に日本産農産物を手頃な価格で提供することで流通拡大が期待されます。将来的にはシンガポールや台湾などへ販路拡大を目指しています。



2017年8月
北海道の集荷拠点より香港へ航空輸送し、現地提携スーパーにて「NIPPON ICHIBA」を活用した販売を開始

デリカフーズとの業務提携

2017年10月に、デリカフーズホールディングス株式会社と業務提携しました。デリカフーズホールディングスが保有する冷蔵センター内に当社の物流拠点を設け、物流の再構築を実施します。集荷場からの物流が一本化することで、新規スーパーへの物流を組みやすくし、流通総額の拡大を目指します。

■両社の事業領域は競合せず、業務提携により相乗効果を見込む

	生産者	販売先	インフラ
デリカフーズHD	大規模	外食・中食	物流拠点・物流網
農業総合研究所	中小規模	スーパー等小売店	情報ツール・決済



ITプラットフォームの強化

「農家の直売所」専用アプリケーション『農直アプリ』第1弾として生産者向けアプリを自社開発しました。登録生産者が自身の出荷情報や、売上状況を随時確認することができるサイトを提供中です。そのほか、相場価格やスーパー(店舗)ごとの販売率情報等を提供し、生産者へ最適な販路と適正価格を提案。効率的な生産管理や収益増大につながるようシステムを構築しています。



順次機能追加し、生産者の農産物流通をフルサポート

- ▶ 売上データ、販売率、ランキング、支払明細書などの確認
- ▶ 店舗の基本情報、その店舗に出荷されている商品の確認
- ▶ 商品相場情報、おすすめ価格、店頭価格の確認
- ▶ 店舗フェアなどのイベントカレンダー
- ▶ 商品に貼るバーコードラベルなどの発券機能
- ▶ 栽培履歴(トレーサビリティ)の管理ほか

会社概要 (2017年10月末現在)

社 名 株式会社農業総合研究所
代 表 者 代表取締役社長 及川 智正
設 立 日 2007年10月
資 本 金 199百万円
従業員数 129名 (役員・パート含む)

和歌山本社 和歌山県和歌山市黒田17-4
シャンドブルーレ2F

東京営業所 東京都品川区大井1-47-1 NTビル8F

大阪営業所 大阪府大阪市淀川区西中島4-12-12
大阪太平ビル9F

集荷場拠点 (2017年10月末現在)

【北海道】芽室、札幌 【山形】河北、白鷹、金山
【秋田】秋田 【新潟】新潟 【栃木】宇都宮
【茨城】鉾田、石岡、筑西 【埼玉】深谷、上里
【千葉】富里、旭、匝瑳、白井、香取
【東京】東京 【神奈川】湘南、秦野、小田原
【長野】松本、安曇野、須坂、上田
【山梨】甲州勝沼、北杜 【静岡】浜松、焼津
【愛知】稲沢下津、豊橋、田原 【滋賀】守山
【奈良】宇陀、大和郡山、橿原
【大阪】貝塚、富田林 【京都】亀岡、与謝野
【和歌山】紀の川第1、紀の川第2、かつらぎ、橋本、
和歌山、印南、有田、美浜 【兵庫】たつの、稲美、
淡路島2カ所、丹波、朝来、豊岡
【広島】大崎上島、世羅 【岡山】津山
【愛媛】西条 【高知】高知
【宮崎】川南、西都、都城 【熊本】熊本、熊本西、植木
【長崎】有喜 【鹿児島】鹿児島
【沖縄】那覇、石垣島

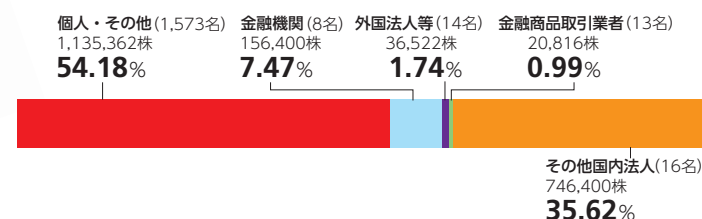
株式の状況 (2017年8月末現在)

発行可能株式総数 7,080,000株
発行済株式総数 2,095,500株
株 主 数 1,624名

大株主の状況(上位10位)

株 主 名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社プレンティアー	720,000	34.35
及川 智正	370,000	17.65
堀内 寛	300,000	14.31
澁谷 剛	100,000	4.77
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	59,000	2.81
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	32,100	1.53
農業総合研究所従業員持株会	30,500	1.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	25,000	1.19
BBH/SUMITOMOMITSUI TRUST (UK) LIMITED FOR SMT TRUSTEES (IRELAND) LIMITED FOR JAPAN SMALL CAP FUND CLT AC	20,900	0.99
株式会社紀陽銀行	15,000	0.71

株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会 毎事業年度終了後3か月以内
株主確定基準日 毎年8月末日
単元株式数 100株
公告方法 公告方法は、電子公告としております。ただし
電子公告によることができない事故その他やむ
を得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に
掲載して行います。
なお、電子公告は当社ホームページに掲載して
おります。
<http://www.nousouken.co.jp/>

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
郵便物送付先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話番号 0120-094-777 (フリーダイヤル)
各種事務手続き 詳しくは、こちらのページにてご確認下さい。
<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

株式会社農業総合研究所

〒640-8341
和歌山県和歌山市黒田 17-4 シャンドブルーレ 2F
TEL : 073-497-7077



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

